



このたびはお忙しいところSHARK - X (Vite31) <sup>ビッテ</sup>のお披露目会にご参加いただき誠にありがとうございます。

木でヨットを造っていた時代には、フレームが立って起工式、完成して初めて水に浮かべる時に進水式をしておりましたが、今では液体がいつの間にか固体になり、いつ起工したのかも定かではありません。今回のように名古屋からの回航ともなりますと引き取りに行った時はすでに水の上。と言うことで、進水式にかえてお披露目会をさせて頂くことにしました。

☆ XとJの違いは ☆

12年前SHARK - J (YOKOYAMA 30 IMS) を作った時は、セーリングに邪魔な物を排除して、足りないところは人間で補うつもりでやってきましたが、歳もとり、少し楽にセーリング出来るように、と考えるようになってきました。

SHARK - X はVite31の11号艇になりますが、内装などは殆ど標準仕様どおり。レースには不要と思われるテーブルやドアもそのまま付いております。これで前のSHARK - Jと走り比べるのを楽しみにしております。

メインコンセプトは10年後 (の体) でもレースが楽しめる船！！

☆ なんでX ☆

艇名に関しては関根が親から引き継いできた (承諾はもらっていませんが) <SHARK>を使うことは決めていたのですが、その次をどうするかがなかなか決まりませんでした。

今回共同オーナーとなってくれました横山一郎ともどもそろそろ爺さんですので<G>という案も浮かんでいましたが、8フィートのディンギーから始まって関根は7艇、横山が2艇、二人合わせて11番目だから、<X>ということに決定！ 実は昔SHARK X世 (10世) というヨット (横山晃氏設計26フィート) があったので、こちらは“10”ではなく“エックス”とさせて頂きました。

ちなみにLOGOデザインは横山飛鳥 (長女)、施工は関根照久です。

☆ そして今後 ☆

二人の体が動くうちにがんばってレースを楽しみたいと思っておりますが、回航も楽しかったし、足の速さと快適性を活用してクルージングにも行って見たいな！  
行ったことはあるけれど、回って来ただけだったり、沖を急いで通りすぎただけの所もたくさんあるしとは思っていますが、とりあえずレースボートとしてはまだまだやらないといけないことが沢山あるので、“船イジリ”をたのしみたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

2009年1月11日11時

オーナー・スキッパー 関根照久

オーナー・デザイナー 横山一郎